

同和行政

同和行政についての考えは

答弁: 見直すべきところは見直しをしていきながら、差別解消に当たっては、市長として責任を果たしてまいりたいと考えております。

小坂 徳蔵 議員
小坂 同和事業を継続し、補助金を交付する条件の地域は、生活環境の改善や市民との融合が進み、部落差別の問題は市内では基本的に解決しています。2015年の総務省の人権侵犯の受理及び処理件数の統計によると、新規受付約2万1000件の内、同和問題は93件で0・44%、インターネットの人権侵犯は1869件の内、4件で0・21%です。このようないかなる自治体が特別な対策を講じなければならぬ深刻な実態は解消してまいります。市長の考えをお伺いします。

市長 本市では、同和問題は解消されていないという認識のもと、各種必要な施策に取り組みしております。根深い差別意識を解消していくことは、行政の責務であると考えております。同和对策事業について市として、特に環境問題、ハード面について特別な対策は講じておりませんが、差別意識の解消に当たる啓発事業については、人権施策の一環として行っているところですので、今後においても見直すべきところは見直しをしていきながら、差別解消に当たっては、市長として責任を果たしてまいりたいと考えております。

第4回定例会 会期日程

- 11. 25 (金) 本会議
- 11. 30 (水) 本会議
- 12. 1 (木) 本会議 (一般質問)
- 12. 2 (金) 本会議 (一般質問)
- 12. 5 (月) 本会議 (一般質問)
- 12. 7 (水) 常任委員会
- 12. 12 (月) 本会議



元気都市かぞ

市民による「元気都市かぞ」づくりについて

答弁: さまざまな機会を通じて市民の皆様と意見交換をし、一体感を持ってまちづくりとともに歩いていくことが必要であると考えております。

中條 恵子 議員
中條 市民の皆様が自発的にいろいろな活動する、また、やりたいことを提案し、それが地域づくりにつながっていくような「協働」にならないかと考えます。地域づくりに楽しんで取り組んでいる方々は元気です。こうした市民の皆様によって「元気都市かぞ」はつくられていくと考えます。市民による「元気都市かぞ」づくりについての考えをお伺いします。

市長 「元気都市かぞ」の実現に向けては、加須市にかかわりのあるすべての皆様とともにまちづくりを考え、知恵を出し合い、また、さまざまな活動をされている皆様と力を合わせながら協働によるまちづくりを進めます。市民一人一人が元気で豊かに暮らし、人と物が交流する関東の真ん中に位置する中核的な都市として、活力ある「水と緑と文化の調和した元気都市かぞ」の実現を目指してまいります。さまざまな機会を通じて市民の皆様と意見交換を行い、どういう考えをお持ちなのか、できるだけお伺いする努力を重ねておりまして、加須市民として一体感を持ってまちづくりに共に歩いていくことが必要であると考えております。

育児支援

産後うつ予防に向けて検診費の助成を

答弁: 産後検診の助成については、国の動向を注視しながら、検討してまいります。

佐伯 由恵 議員
佐伯 児童虐待が昨年度49件、今年度は上半期ですでに48件となっております。また、産後うつが虐待につながるケースが多いともいわれています。昨年産後うつの調査では54件あり、乳児家庭の孤立化を防ぐこと、早期に産後うつのケアを行うことが大切です。厚生労働省は2017年度から産後うつの予防に向けて検診費を助成する方針です。この制度を活用し、市として検診費の助成を行うよう提案いたします。また、産婦人科の増設に向け最大限努力をしていただきたいと思います。

健康医療部長 産後検診の助成をすることで、支援の必要な産婦の情報をどのような形でどの程度市に提供いただけるかなど、詳細は不明でございますが、国の動向を注視しながら、検討してまいります。

市長 児童虐待防止につきましては、専門職員も含めて注目をさらに磨き上げ最後までフォローするとともに、関係する方が一堂に会する組織も含め、積極的に対応してまいります。また、産婦人科医の開設につきましては、あらゆる機会を捉えて市の助成制度をPRし、加須市への立地を促進してまいりたいと考えております。